



平成 31 年 3 月

## 平成 30 年度 ごみ減量 ECOフェスタ 第5回 港区ガレージセール 開催

平成 31 年 2 月 3 日（日）ゆめホーム「ゆめ」かなえる港区民センター 1F ホールにおいて「ごみ減量 ECO フェスタ 第 5 回港区ガレージセール」を開催しました。

昨年度に引き続き、同施設での開催となり、開催時間が正午から午後 3 時に変更しましたが、多数の出店者の応募があり抽選で選ばれた 44 ブースが軒を連ねました。当日は、曇り空で風も強く肌寒い天候にもかかわらず、開催前からたくさんの方が来場され、港区民センター内で列を連らねお待ちになっていました。

開会后、訪れた市民の方は、衣類や雑貨、おもちゃや食器などさまざまなものが出店された各ブースを見て回ったり、出店者とのやり取りなど、会場内は多くの家族連れで大変賑わい、来場者は 512 名となりました。

出店ブースの他にも無地の布バッグにクレヨンで絵付けする「エコバッグ」の作成や「オリジナル缶バッジ」の作成コーナーもあり、子どもから大人まで楽しめるガレージセールとなりました。

今後も港区ガレージセールを通じて「リユース」の輪が広がり、さらなるごみ減量に繋がるよう来年度も継続して開催してまいりたいと考えています。

当日は、会場準備や出店者受付、会場案内など運営に従事していただいた推進員のみなさん、お疲れ様でした。



# 「ごみ減量市民交流会2019」

## が開催されました。

平成31年2月7日（木）、大阪駅前第3ビルの大阪産業大学梅田サテライトキャンパスで開催されました。この交流会は、ほぼ毎年この時期に開催され大阪府内各市町村の廃棄物減量に関わる地域住民、市町村のごみ減量担当者が集まり、それぞれ地域での「ごみの減量・3R」のさまざまな取り組みについて情報交換や意見交換を行う取り組みです。今回、港区からは、磯路連合より2名の廃棄物減量等推進員が参加されました。

第1部として、大阪府寝屋川市の「ごみ減量マイスター」についてと、守口市から「学びを力に行動を起こすー3R・低炭素社会検定への挑戦から新たなチャレンジへ」について、事例発表がありました。

寝屋川市の「ごみ減量マイスター」という制度は、広く一般市民の方を対象に、行政が開催する講座を受講することで、行政がマイスターを認定する制度です。ごみ減量マイスターは、発足当時の170自治会から現在は、マンションを含めると、240団体に増えています。

具体的な活動内容として、行政と市民との橋渡し役、ごみ減量の実践と啓発、地域への協力要請、ごみステーションでの分別指導など、地域で力を発揮している事例が紹介されました。

また、守口市では、「3R・低炭素社会検定」を環境政策課で受検に取り組み、職員の意識向上や関係事業者との合同学習会などを通じて、協働によるごみ減量を進めている事例が紹介されました。



第2部では参加者全員による交流会が行われ、「廃棄物減量等推進員の活性化」「市民・事業者・行政の連携」「食品ロスをなくすには」「紙のリサイクルを進めるためには」「イベントでのごみゼロ」「びんのリユース・リサイクル」の各テーマで6つの分科会に分かれ、限られた時間の中で参加者同士、活発な意見交換が行われました。

《編集・発行》

大阪市環境局西部環境事業センター

大阪市大正区小林西1-20-29

TEL : 6552-0901 FAX : 6552-1130

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

